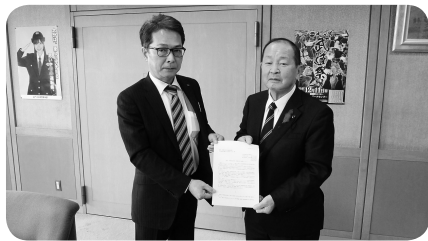


# 森林・林業基本計画の推進に係る諸課題の解消に向け共に協力することを確認 ～林活議連九州連絡会議へ要請～



御手洗会長（右）へ要請書を手交



御手洗会長へ要請を行う地本三役

要請行動には、甲斐地本委員長、古村副委員長、加藤書記長、歌野執行委員長が参加し、冒頭、甲斐委員長から御手洗会長に要請書を手交しました。

要請内容は、①森林・林業基本計画に基づく施策の具体化を図るための必要な予算の確保と、間伐や再造林等に必要な予算の確保、森林整備をはじめとする森林分野での施策の拡充、②森林環境譲与税については、奥地等の森林整備が図られるよう、税の趣旨に基づいた譲与基準の見直し、③森林経営管理制度による市町村の森林整備を促進するため、林務担当者の育成を図る仕組みの確立、「森林経営管理法」「森林環境税及び譲与税」などの法律に係わる附帯決議の具体化、④主伐後の確実な再造林、公的補助の拡充、苗木の安定供給と鳥獣害対策、森林整備の低コスト化と事業体への支援の拡充、⑤木材の安定供給の確立に向け、需給調整、販売をコーディネートする組織の確立、公共建築物の木造化・木質化、C LITの利用拡大等による木材利用促進、⑥山村振興法の附帯決議に基づき雇用の拡大、地域の事業体が優先的・安定的に受注できる発注方式の改善、⑦林業労働力の育成・確保に向けた施策の拡充及び予算の確保、林業労働者の労働条件の処遇改善、⑧森林整備が進まない森林に

地本は12月5日、大分県議会議員室において、指令に基づき、森林・林業活性化促進議員連盟九州連絡会議の御手洗会長（大分県議・佐伯市）へ「森林・林業基本計画」の推進に係る要請行動を実施しました。

12月9日、別府市・ホテルサンパリアアネックスにおいて、西南三地本会議が4年ぶりに開催され、中央本部から伊藤中央執行委員、受け入れ地本である九州地本から甲斐地本委員長外執行部5名、四国地本から梶原地本委員長外執行部6名、近畿中国地本から田上地本委員長外3名が参加し、計18名の参加者で行われました。



座長を務める甲斐九州地本委員長

向きな運動・組織運営に繋がるよう、有意義な場にしていきましよう」と挨拶。

その後、伊藤中央執行委員より、①公務労協等の取り組み、②人事院勧告等の取り組み、③2023年度予算、組織定員について、④国有林野事業の推進について、中央情勢の報告を受けました。

その後、各地本から抱えている課題と取組状況の報告として、要員関連課題、業務運営課題、賃金・労働条件課題、組織態勢の確立と強化に向けた取り組み

について報告され意見交換が行われました。

意見交換では、空席ポスト解消に向けた要員確保、樹木採取権制度に関する職員の負担軽減、非常勤職員の予算確保、各地本による組織運営の状況や組織化の現状などについて議論を行い、今後においても各地本が抱えている諸課題を共有し、引き続き取り組みを進めていくことを確認し会議は閉会しました。

次回は、近畿中国地本管内での開催予定となっています。



意見交換する三地本

## 各地本における諸課題解決に向け意思統一 4年ぶりに西南三地本会議開催

いては、水源林造成事業等による公的森林整備の拡充、⑨国有林野事業については組織の拡充と現場管理機能の強化・拡充、樹木採取権制度については国有林の管理経営に影響を生じさせないとともに、林業事業体の育成整備に繋げること等、9項目

を要請しました。

これに対し、御手洗会長は「要請のあった内容については重要なものであると認識している。各県林活議連会長にも伝え、連携して取り組んでいきたい。予算的なものもあることから、要望いただいた件については農水政務官、林野庁に対し要請行動を行ったところであり、森林・林業・林産業の更なる発展に向け、林活議連としても、しっかりと取り組むので協力をお願いする。」と回答がありました。

林野労組としても林活議連に対し、更に協力関係を維持し取り組みを確認しました。

分会で開催したいろんなイベントや会議、地域の集会等の記事を募集していますので、教宣担当のメールアドレスへ投稿をお願いします。

E-mail: [sirin14-utano@sage.ocn.ne.jp](mailto:sirin14-utano@sage.ocn.ne.jp) (教宣担当)

### 記事を募集しています!!



暦の上で春が始まる日の二十四節氣の一つ『立春』。立春とはいえずまだ厳しい寒さが続く▼立春といえば、俳句などで「雪や氷が溶ける」「春の芽吹き」「生き物が動き出す」というイメージが使われ、一年で最も寒い時期から徐々に暖かくなっていく季節の移り変わり、と日脚が少し伸びたように感じられる時期でもある▼新型コロナウイルス対策が強化されたこの1～2年は、私たちの生活や業務のうえで大きな影響を受けたが、対策の緩和でようやく以前の日常が戻りつつある。自粛されてきた様々な行事やイベントなどが開催され始めるようになり、「約3年ぶり」というフレーズが必ずといっていいほど聞かれる▼長く厳しかったコロナ禍と冬に終わりを告げ、春の芽吹きと春の訪れとともに少しずつ前に踏み出し、また新たなスタートとして春を迎えたい。

(NIKU)

# 林野労組九州

発行所  
熊本市西区京町本丁2の7  
全国林野関連労働組合九州地方本部  
(電) 096-354-1150

発行者 歌野国光  
発行日 10日  
定価 1部20円  
組合員の購読料は組合費の中に含む

## 緑を育て、守る、 林野労組

### 当面の行動

- 2月3日 全国共済理事会（東京都）
- 2月11日 青女常任委員会（12日）
- 2月12日 青年女性委員会春闘学習交流集会（熊本市）13日
- 2月22日 執行委員会
- 2月23日 全国組織財政確立委員会、全国書記長会議（東京都）
- 2月24日 森林労連全国代表者会議、第19回定期中央委員会（東京都）

## 匠の腕

「薩摩のパラダイス」  
(撮影者 矢部岳広：鹿児島分会)



「匠の一言」  
薩摩半島南端には沖縄にも負けない南国の海が広がっています。

